

競技注意事項

- 開催日 令和6年4月27日（土）4月28日（日）
- 会場 三ツ沢公園陸上競技場
- 規則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項に準じておこなう。
- 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は最初の競技開始30分前までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
- 練習
 - 「競技場使用上の注意・お願い」に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - 競技者以外の練習は認めない。
 - 走高跳、走幅跳、砲丸投の公式練習は、審判の指示に従って行うこと。
 - 棒高跳の公式練習は、同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは、2m90、3m50、4m00から選択する。
- 競技用靴について 2024年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目（ハードル含む）は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。本競技会において、フィールド専用シューズのみ適用除外とする。
- 招集
 - 競技順序記載の招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、腰ナンバー標識を受け取り、アスリートビブスとスパイクの確認を行う。（ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下）※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
 - 競技中に他の出場種目と招集時間が重なる場合は、事前に招集所競技役員に申し出て、本人がコール用紙に自分で○をつける。
 - 招集終了後、競技順序記載の集合時刻に、各種目の集合場所で最終確認を受ける。
 - 招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
- リレー
 - オーダー用紙提出は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
 - 競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ集合時刻までに集合する。
 - リレーのユニフォームについては、同系色であれば形式は問わない。
- アスリートビブス
 - 胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - 布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で大きく飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。
 - トラック種目では、主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手（リレーは4走のみ）は招集所で受け取り、右腰に付けておく。競技後に回収はしない。
- 計測 トラック種目はすべての競技者のタイムを計測する。ただし、中長距離種目は競技進行上、制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合はただちに競技を終了する。

	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分05秒	10分45秒
女子	2分50秒	5分45秒	—

フィールド計測ライン及びバーの上げ方は下記の通りとする。ただし当日の状況により変更することがある。

	男子		女子	
走幅跳	計測ライン	5m00	計測ライン	4m00
	予選通過記録	5m70	予選通過記録	4m60
砲丸投	計測ライン	7m50	計測ライン	7m00
	予選通過記録	9m50	予選通過記録	9m50
走高跳	1m50 (5cm) ・ 1m75 (3cm)		1m30 (5cm) ・ 1m45 (3cm)	
棒高跳	2m70 (10cm) ・ 4m00 (5cm)			

走幅跳・砲丸投については、予選通過記録を設ける。

- 1 1. スタート
- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。
 - ・3000mについては2段スタートで行う。
 - ・800mのスタートについては1レーンに1～2名入れてセパレートレーンで行う。
- 1 2. 予選通過
- トラック
- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合細部まで拡大して読みとり着差をつける。それでも決定できない場合、100m・200m・400m・ハードルは抽選とし、800m・1500mは次のラウンドに進出できる。
 - ・決勝のレーンについては、TR20.4.3～20.4.5を適用する。
- フィールド
- ・走幅跳・砲丸投は上記の記録を予選通過記録とし、これに達した場合は残りの試技はおこなわない。決勝は、すべての記録を計測する。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- 1 3. 順位決定について
- トラック
- ・すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は同順位とする。
- 1 4. 表彰
- 表彰式を行う。各種目優勝者には選手権章・賞状、2位～8位までに賞状を授与する。
- 1 5. 開閉会式
- 開閉会式は、通告と選手宣誓のみ行う。
- 1 6. コーチングエリアの使用方法
- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
 - ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。選手はコーチングを受ける際、競技運営や安全上に問題がないように気をつけ、審判員の指示に従うこと。
 - ・コーチングエリア前に、ウォーミングアップエリアがある場合、選手はその手前で指示を受けること。
 - ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
 - ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアの使用は、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。
- 1 7. 全般に渡る注意点
- ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
 - ・メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
 - ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に学校番号を書くこと。
- 1 8. その他
- 競技場の利用のしかた
- ・「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」参照。

